

高退互広報

退職予定会員向け

号 外

平成30年 12 月 7 日

発行 一般財団法人 愛知県公立高等学校教職員退職互助会

〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目 49 番 10 号 愛知県教育会館 5 F TEL (052) 261-2248 FAX (052) 241-0318

* ホームページ <http://www.saturn.dti.ne.jp/aitikoti/index.html> (高退互で検索)

退職会員へ移行し、 将来への安心を 手に入れよう！

今年度退職予定の皆様におかれましては、これまで現職会員として長年にわたり本会を支えていただき、誠にありがとうございました。

今、皆様は退職が近づき一日一日を感慨深くお過ごしになると同時に退職後の生活への不安も感じられていらっしゃるのではないのでしょうか。

「超高齢社会」へと進む現在、医療費負担増への不安は前期高齢者では現実のものとなり、さらに後期高齢者の医療費負担も増加することが予想されます。今後さらに医療費の自己負担が増える可能性が高い中、「療養補助金給付事業」を柱とする退職互助会は、まさに退職後の終生のセーフティネットになると確信しています。

退職を迎えられた皆様は、現職会員から退職会員に移行されることによって終生のセーフティネットを備えることができます。

いざ「病気かな？」と疑った時、金銭的な心配をせずに病院にかかることのできる状況は、老後への安心感を与えてくれるはずです。この安心感と実際の医療費補助等の事業が本会への入会の価値といえましょう。

終生のセーフティネットを自らの手に

来春、ご退職予定のみなさまにおかれましては、長年本会を支えていただき、心から御礼申し上げます。私もみなさまと同じように来春退職予定ですが、幸いにも健康に恵まれ、当分の間は退職互助会のお世話にならずに済むのではないかと思います。しかし、「もしも病気になってしまったら…」という将来への不安感のあることも確かです。急に訪れるかもしれない医療費負担への不安や将来の医療制度変更に対する不安・リスク回避のために私も終生のセーフティネットとなる本会に入会しようと思っています。

現在、医療費の自己負担は3割ですが、70歳から74歳の前期高齢者は原則2割の自己負担、また75歳以上の後期高齢者の場合は原則1割となっています。しかし、私たちが前期高齢者となる10年後はどうなっているのでしょうか。「2025年問題」という言葉をよく聞くようになりました。団塊の世代が75歳を超えて後期高齢者となり、国民の5人に1人が75歳以上、3人に1人が65歳以上という「超高齢社会」を迎え、膨張する医療費増加にどう対

応するかということが大きな課題となっているのです。事実、世代間の負担の公平性を図るため、近年相次いで70歳以上の高額療養費の自己負担限度額が引き上げられています。そして、将来の医療費増加に対する財源確保のために自己負担割合を引き上げざるを得ないのではないか、ということも議論されています。

わたくしたちが定年を迎え、年齢とともに病気へのリスクが高まっていく中、医療費の自己負担が大きくなっていく可能性が非常に高くなっています。こうした状況だからこそ、手術や入院はもちろんのこと、処方箋による薬代など「他の医療保険ではカバーできない分野を、安価に、しかも終生にわたってカバーしている」退職互助会に入会され、医療を安心して受けられるメリットはとても大きいものと確信しています。退職時の一度だけの負担で「自助」を手に入れ、終生の安心を手にしていただければと思います。

愛知県公立高等学校教職員退職互助会
理事長 竹 下 裕 隆